

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サベージ・ライフ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サベージ・ライフ

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：サベージ・パール

フレアーの幅 インチ

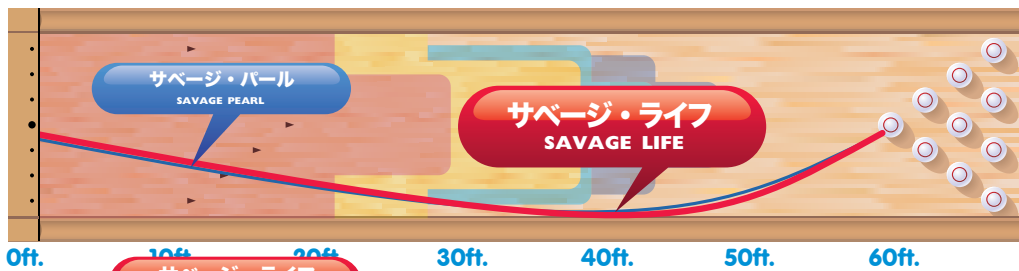
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

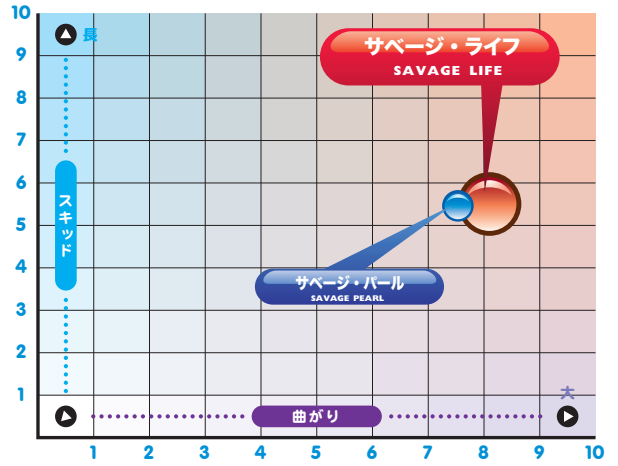
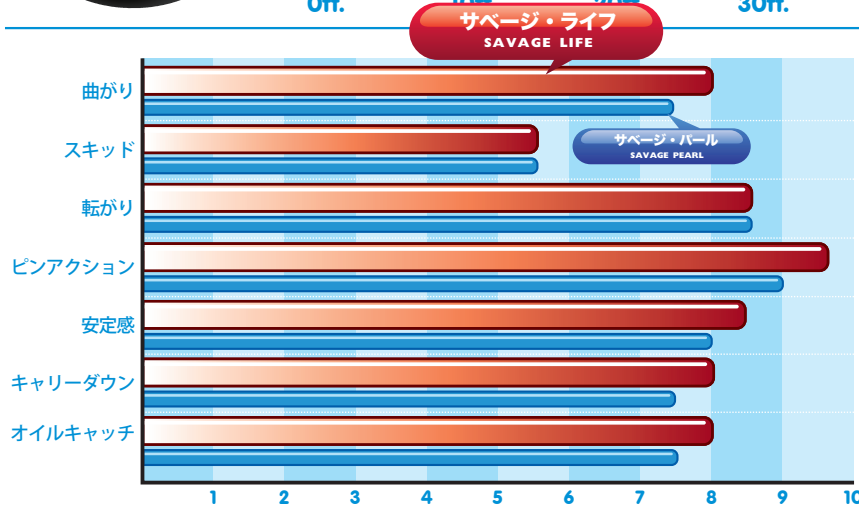
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

HP領域でスキッドを殺さずキャッチを出すバランスは非常に難しいのですが、このSAVAGE LIFEはもの見事にしっかり曲がっているのに直進力と扱いやすさを感じ、多少オイルが少なくても、逆に多少オイルが多くても使用できる領域を他のボールより広く感じさせるのが、一言で”万能”と表現できる、強めのパールカバーの決定版といえるのではないのでしょうか。

毎月数多くのボールが発売される中でボールを選ぶことは、性能の分かりやすい無難なシリーズに行きがちですが、同じシリーズでまとめることは消極的に同じ領域を買い揃えることにもなるし、他社カバーを持つことでアジャストのラインや攻め方の選択肢も増えることを念頭にチョイスしなければなりません。その意味では他社の万能と言えるモデルを持つことは積極的と言えるかもしれません。今回はABSインターナショナルのSAVAGE PEARLと比較しましたが、同じコア・カバーストックで配色の違いと混合比でこれだけイメージが違って出ているのも特徴で、様々なタイプでPEARLかLIFEかをリアクションの好みでパフォーマンスを選べることも選択肢の幅を広げられています。同じパール素材ながらやや早めのブレーキングでやや角の出るリアクションを好むSAVAGE PEARLか、柔らかくキレ込むイメージで曲がり続けるSAVAGE LIFEか、私にはどちらもお気に入りのボールなので、コンディションの状況により選択を変えてみましょう。Pearl主体のカバーストックはスキッド特性が高く、カバーストックの強さでブレーキのかかり具合の長さを変化させることができます。このSAVAGE LIFEも強めのカバーのPearl素材なので走りが優位に感じるものの、走りとブレーキのかかり具合、曲がりのイメージが非常にレベルが高く、使用していてストレスがなくラインに集中することができるでしょう。

特記事項

性能に不安視がなく、Hyper Shock Technologyが活きる性能。攻めのボウリングの中に使える領域の広さと万能と言える安定感は見逃せません。